

肺癌術後 5 年無再発患者における晩期再発危険因子の検討

1. 研究の対象

2006 年 1 月～2015 年 12 月に原発性肺癌に対して手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

肺癌の術後、再発することがあります。肺癌の再発時期は術後5年以内であることが多いため、一般的に術後のフォロー期間は5年とする事が多くなっています。しかし、術後5年以降の再発（晩期再発）もあり、どの様な患者さんに5年以上の長期フォローを行うべきかは今後の検討課題となっています。肺癌術後 5 年無再発の患者さんにおける晩期再発危険因子を探索することが本研究の目的です。

3. 研究に用いる情報の種類

当院において 2006 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日までの間に原発性肺癌に対して手術を受けられた患者さんの入院および外来カルテ、及び院内がん登録の情報から、患者基本情報（年齢、性別）、肺癌の詳細（病期、病理所見など）、手術内容、再発の有無、発見日、予後（生存）情報、死因などを調査します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者: 神崎 隆

大阪国際がんセンター 呼吸器外科

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181